

安衛環境など確認

佐藤渡辺・三井住建道路
の女性社員が安全パト

佐藤渡辺東北支店（有路通夫支店長）と三井住建道路東北支店（松田雄二支店長）は2日、NEXCO東日本東北支社仙台工事事務所発注の「常磐自動車道山元～岩沼間舗装工事」現場で、女性社員による安全衛生パトロールを実施した。写真。9月の全国労働衛生週間準備月間に合わせたもので、女性目線で働き方改革の取り組み状況や現場と仮設プラントの安全衛生対



策、新型コロナウイルス感染防止対策などを重点的に見て回り、実態を把握した上で対策を指導した。

同工事は常磐自動車道山元IC～岩沼IC間の4車線化事業で、宮城県山元町から岩沼市にかけての総延長1万4270㍍を施工区間とする。工期は2019年11月19日から21年7月10日まで、施工は両社のJVで担当している。

パトロールには、有路支店長、松田支店長らとともに両社から計4人の女性社員が参加したほか、現場で勤務する2人の女性社員も参加した。

パトロール後、参加した女性社員からは「女性用トイレがとてもきれいなことに驚いた」「バックホウによる排水構造物現場を確認した際は機械が大きく怖く感じた。接近できないように看板などを設置した方が良いのではないか」「仮設プラントでダンプ運転手が駐車の際に輪止めをしており、ルールの徹底が行き渡っていると思った」などの声が上がった。

